国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

令和元年7月2日（火）
国土交通省　関東地方整備局
霞ヶ浦導水工事事務所

記　者　発　表　資　料

魚類迷入試験（那珂川から桜川への試験通水）を開始します。

霞ヶ浦導水事業において、
那珂川の魚類迷入試験施設が完成したことから、
令和元年7月8日に魚類迷入試験（那珂川から桜川への試験通水）
を開始します。

1．試験の目的
　霞ヶ浦導水事業において、那珂川からの導水の本格運用の方法を決定するに当たり、魚類の迷入(吸い込み)を防止する魚類迷入防止対策(案)について、魚類迷入防止効果を科学的に評価・検証することを目的として実施するものです。

2．試験の実施時期
　令和元年7月8日（月）～　（3年間程度を予定）

3．試験の実施場所
　茨城県水戸市渡里町字枝内地先

4．試験の概要
　添付のとおり

5．その他
・那珂樋管設置魚類迷入（吸い込み）防止対策効果試験検討委員会の経緯等
　：　http://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/dousui_index003.html
・荒天時や災害発生時等には試験の開始を延期することがあります。

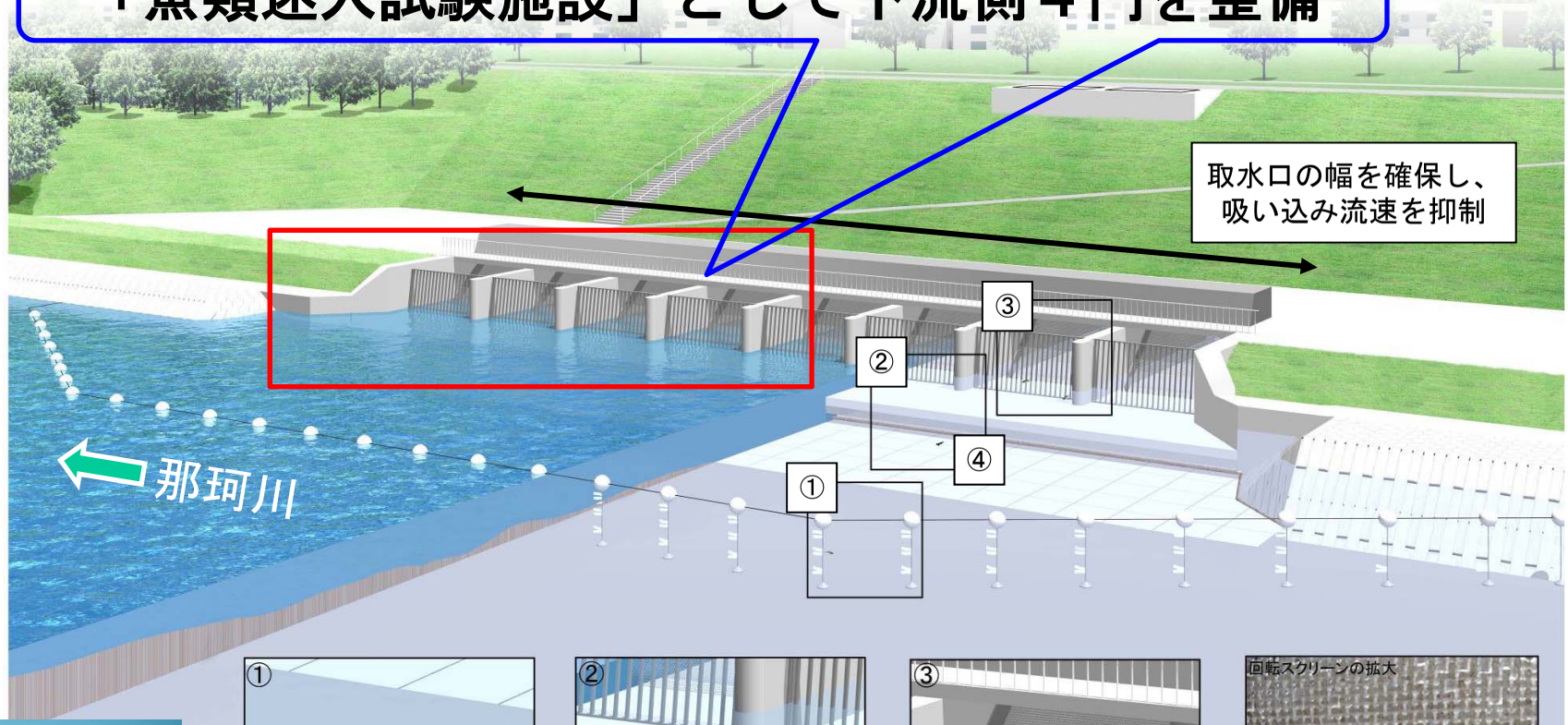
発表記者クラブ
茨城県政記者クラブ　栃木県政記者クラブ　竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会
問い合わせ先
国土交通省　関東地方整備局　霞ヶ浦導水工事事務所 TEL：029－822－3007（代表）／FAX：029－826－6099（代表） 副　所　長　　宮下　規（みやした　ただし） 調査設計課長　　松岡　明（まつおか　あきら）

魚類迷入試験施設整備工事　施工状況（那珂川18.5km地点）

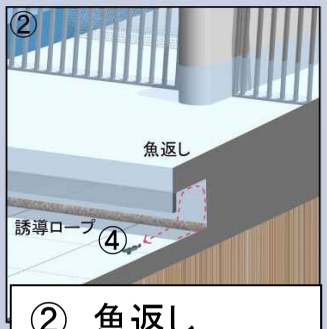
資料-1

魚類迷入試験施設及び魚類迷入防止対策（案）のイメージ（那珂川18.5km地点）

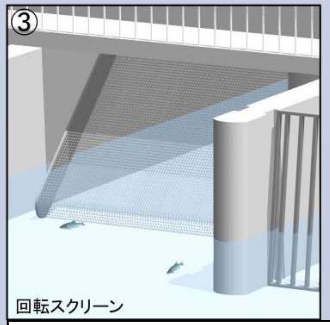
「魚類迷入試験施設」として下流側４門を整備



①. ふき流し



②. 魚返し
④. 誘導ロープ



③. スクリーン

- **取水口の前面に、魚類迷入防止対策(案)の設備を設置**
- **仔アユ降下時期の夜間取水停止**

1.魚類迷入試験の目的

魚類迷入試験は、魚類迷入防止対策（案）（以降、対策（案）という。）について、迷入防止効果の検証を行うことを目的として実施する。

2.魚類迷入試験の対象魚種

対象魚種は、アユ、サケ、カジカ、ウナギ、モクズガニ、マハゼとする。

【参考】

対象魚種		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対策（案）
アユ	仔魚									仔ｱﾕ降下				■夜間取水停止
	稚魚			稚ｱﾕ遡上										■スクリーン ■吹き流し
サケ	稚魚			稚ｻｹ降下										■スクリーン ■吹き流し
	成魚										成魚ｻｹ遡上			■スクリーン
サクラマス	成魚				成魚ｻｸﾗﾏｽ遡上									■スクリーン
ウグイ		一年中生息												■スクリーン
カジカ ウナギ モクズガニ マハゼ		ｳﾅｷﾞ遡上		ﾓｸｽﾞｶﾞﾆ遡上	ｶｼﾞｶ降下			ｶｼﾞｶ遡上		ｳﾅｷﾞ降下 ﾓｸｽﾞｶﾞﾆ降下		ﾓｸｽﾞｶﾞﾆ遡上		■魚返し ■誘導ロープ
		ｶｼﾞｶ・ｳﾅｷﾞ・ﾓｸｽﾞｶﾞﾆの成体は一年中生息												

※　なお、ウグイ、サクラマスについては、体長及び遊泳力は大きく、スクリーンにより対策可能であると考えており、魚類迷入試験の対象としない。

3.対象魚種ごとの対策（案）

魚類迷入試験では、仔アユには夜間取水停止、稚アユ・稚サケにはスクリーン及び吹き流し、モクズガニには誘導ロープ、底生魚には魚返しと、魚種ごとに対策（案）の迷入防止効果を検証する。

＜対象魚種＞	＜対策（案）＞	＜魚類迷入試験における確認のポイント＞
仔アユ	夜間取水停止	取水を行い仔アユ迷入状況を確認 ・時間帯別の那珂川本川の仔アユ降下量および取水口の仔アユ迷入量を調査
稚アユ 稚サケ	スクリーン	取水を行いスクリーンによる迷入防止効果を確認 ・スクリーンを設置し、滞留魚や通過魚を調査して、迷入防止効果を確認 ・（参考）ゴミや塵芥等の付着状況と取水状況を調査して適正な清掃頻度を確認
	吹き流し	取水を行い吹き流しによる迷入防止効果を確認 ・吹き流しに対する稚魚の忌避行動を調査して迷入防止効果を確認
モクズガニ	誘導ロープ	取水を行い誘導ロープ・魚返しによる迷入防止効果を確認 ・対象魚等の行動を調査して迷入防止効果を確認
底生魚	魚返し	

4. 今後の進め方について

＜仔アユ＞

○ 取水停止を行わない状態で実施する降下量調査と迷入量調査の結果を、期間別・時間別に整理

○ どの期間・どの時間に取水停止を行えば、年間の迷入防止効果がどの程度になるかを分析

○ 目指すべき年間の迷入防止効果、取水停止の期間と時間について、今後の検討委員会でご意見を伺った上で決定

＜稚アユ、稚サケ＞

○ 条件（スクリーンの目合）を変えて実施する迷入量調査の結果と標識魚の放流量の実績を、条件ごとに整理

○ 条件ごとに、年間の迷入防止効果と、年間のゴミ付着状況を評価

○ 迷入防止効果とゴミ付着状況の総合的な評価をもとに、条件（スクリーンの目合）について、今後の検討委員会でご意見を伺った上で決定

＜その他＞

○ スクリーン、吹き流し、魚返し及び誘導ロープによる忌避行動を撮影したビデオ映像から、条件ごとの効果を定性的に評価

○ 定性的な評価をもとに、最適な対策について、今後の検討委員会でご意見を伺った上で決定